

ひがしどおり

No. 4 0

議会だより



東通小学校入学式（H24. 4. 6）

3月定例会

定例会の審議内容	2～4P
一般質問に1人登壇	4P
全員協議会	5P
委員会の動き・要望活動	6～7P
議会の動き	8P

3月定例会



請願書

○請願第一号 東通村職員一
分限免職方針撤回を求める決
議」の請願書 【不採択】

報 告

○東通村税条例改正
主な改正は、たばこ税率、
退職所得に係る個人住民税額
控除等を改正するものです。

○東通村税条例改正
主な改正は、東日本大震災
に係る住宅、家財等や事業用
資産に損失が生じた場合にお
ける繰越控除の特例対象とな
る「災害関連支出」について
改正するものです。

○平成二十三年東通村一般
会計補正予算(第五号)
○平成二十三年東通村一般
会計補正予算(第六号)
○平成二十三年東通村一般
会計補正予算(第七号)
以上三案件は、除排雪に要
する経費を緊急的に追加した
ものです。

審議内容

選挙

○東通村選挙管理委員会委員
及び同補充員の選挙の結果
○選挙管理委員会委員当選者
南谷悦男(再選)、手間本修
悦(再選)、川口義男(再選)、
川原田洋(新)
○同補充員当選者
石野廣彦(再選)、奥島操
(再選)、澤田教市(再選)、
加藤千賀子(新)

条 例

○東通村職員の勤務時間、休
暇等に関する条例改正
時間外勤務代休時間制度の
創設等をするため改正するも
の です。

○東通村職員の育児休業等
に関する条例改正
育児休業等を行うことがで
きる職員の拡大を含む、所要
の改正をするものです。

○東通村特別職の職員で非常
勤のものの報酬及び費用弁償
に関する条例改正
スポーツ振興法が全部改正
され、スポーツ基本法が施行
されたことに伴う改正です。

○東通村一般職の職員の給与
に関する条例改正
時間外勤務代休時間制度の
創設等をするため改正するも
の です。

○東通村税条例改正

国において現下の厳しい経
済状況及び雇用情勢に対応す
る税制の整備を図るため改正
するものです。

○東通村公の施設に係る指定
管理者の指定手続等に関する
条例改正
東通村北地区製氷センター
竣工に伴い、改正するもので
す。

○東通村育英基金条例改正
一件三十万円の寄付の申し
出により、基金の額に追加し
改正するものです。

○東通村下北試験場関連特定
事業基金条例
防衛省技術研究本部下北試
験場が、特定防衛施設として
新たに追加指定を受け、同周
辺整備調整交付金が交付され
今後、漁業振興及び公共用施
設整備又は事業に効果的に活
用することを目的に基金を設
置するものです。

○東通村介護保険条例改正

第五期の保険料は第四期か
ら据え置きとする改正です。

○東通村斎場設置条例改正
火葬使用料を改正するもの
です。

○東通村製氷貯氷施設設置及
び管理に関する条例改正
平成二十四年四月一日開設
の東通村北地区製氷センター
を加えるため、改正するもの
です。

○東通村道路占用料等徴収条
例改正
法改正により、村の道路占
用料を改正するものです。

○東通村営住宅条例改正
法改正により、単身者の入
居資格要件が廃止されたため、
改正するものです。

補正予算

○平成二十三年東通村一般会計補正予算（第八号）

歳入の見込み、事務事業等の確定により補正。既定額から四億三千三百六十七万二千円を減額。予算総額を百三億三千四百四十一万七千円とするものです。

○平成二十三年東通村国民健康保険特別会計補正予算（第一号）

歳出は、出産育児一時金を二百十万一千円増額、確定により後期高齢者支援金及び前期高齢者納付金を二十四万八千円増額、又、平成二十二年国庫支出金の確定による返還のため一千七百五十九万五千円を増額、あわせて一千九百九十五万四千円を増額。歳入は、税率改正により財政調整基金を五千八百万円繰り入れ、その結果、予算総額を十一億七千九百五十四万四千円とするものです。

○平成二十三年東通村介護保険特別会計補正予算（第二号）

歳出は、総務費、予防給付費等諸費等の増額、介護給付費等諸費等の増額、介護給付

費等諸費、地域支援事業費の減額。歳入は、国庫支出金の増額、支払基金交付金等の減額。予算総額を六億二千五百八十六万九千円とするものです。

○平成二十三年東通村下水道事業特別会計補正予算（第三号）

事業費並びに施設管理費等の所要額の調整により、予算総額を四億九千八百八十一万一千円とするものです。

○平成二十三年東通村水道事業会計補正予算（第三号）

資本的支出は、一般会計納付金確定等により、二百十萬三千円の減額。その結果、収益的収入は三億六千五百五十万円、収益的支出は三億二千八百四十三万円とするものです。又、資本的収入は一億二千三百五十万円、資本的支出は二億九千七百七十三万円とするものです。

当初予算

○平成二十四年度東通村一般会計予算

当初予算は、歳入歳出総額八十二億五千五百万円、前年

度に対して三十二・一パーセント、三十九億円の減とするものです。

○平成二十四年度東通村国民健康保険特別会計予算

歳入歳出予算総額を対前年比二千二百万円減の十億六千六百万円とするものです。

○平成二十四年度東通村後期高齢者医療特別会計予算

歳入歳出予算総額を五千五百九十六万四千円とするものです。

○平成二十四年度東通村介護保険特別会計予算

介護サービス利用者の増加を踏まえ、歳入歳出予算総額を六億二千五百七十五万三千円とするものです。

○平成二十四年度東通村下水道事業特別会計予算

今年度も引き続き小田野沢地区漁業集落環境整備事業を実施することに伴い、歳入歳出予算総額を五億三千七百九十三万五千円とするものです。

○平成二十四年度東通村水道事業会計予算

収益的収入は予算総額を三億二千九百四十万円、収益的

支出は三億二千百十六万円。資本的収入は予算総額を一億五千九百六十万円、資本的支出は予算総額を二億九千七百九十五万円とするものです。



その他

○公の施設の指定管理者の指定について

東通村北地区製氷センターの指定管理者について提案するものです。

○村道路線の変更にについて

田屋集会所線道路改良事業を実施するため、路線等の変更認定について提案するものです。

○村道路線の認定について

石持三号線、赤平神社線、

砂子又二号線について、道路改良事業により村道として認定するため提案するものです。

○青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更にについて

地方自治法に基づき、議会の議決を要するものです。

○青森県市町村職員退職手当組合を組織する地方公共団体数の増減及び青森県市町村職員退職手当組合規約の変更にについて

地方自治法に基づき、議会の議決を要するものです。

○下北地域広域行政事務組合規約の変更にについて

児童福祉法改正により、「知的障害児施設」が「障害児入所施設」に改められることに伴い、規約の一部を変更するものです。

人事

○副村長の選任

空席になっておりました副村長の選任に関するものであり、林春美氏が全会一致のものと同意されました。

陳情書

○陳情第一号 TPPへの参加反対の意見書を求める陳情書

【採択】

○陳情第二号 公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める陳情書

【採択】

○陳情第三号 「こころの健康を守り推進する基本法」(仮称)の制定を求める意見書提出に関する陳情書

【採択】

議員提出

○発議第一号 TPPへの参加反対の意見書を求める意見書

○発議第二号 公的年金二・五パーセントの引き下げに反対する意見書

○発議第三号 「こころの健康を守り推進する基本法」(仮称)の法制化を求める意見書
以上三意見書は、内閣総理大臣はじめ関係大臣へ提出。

一般質問

3月14日
定例会本会議



吉田光男 議員

東通村診療所院外薬局における薬の受け取りについて

【吉田議員】

診療所へ通院中の方は、薬局で薬を受け取った後、患者送迎バスに乗るため、再び診療所まで戻る現状にある。又、薬を受け取るまで待ち時間が長いという事態になっていると多くの方々から伺っている。今冬は大雪の影響で視界と足元が悪い非常に厳しいものがある。送迎バスが薬局で停車するなどの対策が必要であると考えるが。

【村長】

薬局開設当時から足腰が弱い方で希望された患者には薬局から診療所へ配達の方法がとられており、薬を渡す際には薬の説明と服用についての説明をすることが義務付けられている。更に配達の際には金銭の授受が必要となることから、時間の掛る作業となっており、出来る限り患者さんの負担のからないように、午前十一時三十分頃までに頂いた処方箋は、送迎バスの時間に間に合うようにお届けするように努力していると伺っている。薬の内容によっては、複数の薬品を一袋に梱包する作業等により長く時間の掛る場合もあり、従来の院内処方及び薬局開設当時の一般的な

処方時間は、一ヶ月分で概ね三十分を要したところ、現在では二十分程度に短縮されていると伺っているのでご理解賜りたい。送迎バスの停車する対策については、バス運行会社とも十分協議、ご協力頂きながら、早い時期から薬局前から送迎バスに乗車出来るようにしたいと考えている。いずれにしても、医師の処方に従い、投薬には絶対に間違いがないように薬局も充分注意して業務を行っており、そのためには多少の時間がかかることについては、ある程度患者としてもご理解頂かなければならないものと存じている。時間短縮については、引き続き要望して参る。



全員協議会

★三月一日（木）

午前十時 村庁舎議場にて

◎協議案件

○（仮）東通村産地直接販売施設等について

村と東北・東京両電力においては、本施設計画についての協力をお願いすることで、これまで協議を進めてきたが、東京電力においては、福島第一原発の事故に係る賠償や原発停止に伴う資金面での困難により、政府から支援を受けている状況にあること、又、東通原発東京一号機は、福島第一原発の事故の収束を最優先するとの観点から、本格工事の開始を見合わせており当該事業に対する協力は非常に困難な状況と伺っていることでした。

又、東北電力においても、東北地方太平洋沖地震と新潟・福島豪雨により被災した設備の復旧と早期の再稼動を目指していた東北一号機の見通しが全く立たない状況であり、創立以来の極めて厳しい経営環境となっており、又、

国のエネルギー政策の方針並びに社会的な状況等の影響を熟慮すると、事業に対する協力は非常に困難な状況になっていると伺っていることでした。

このような状況を踏まえ、当該事業の継続について、関係者とともに、様々な観点から検討を重ね、苦渋の選択として事業を一時中断いたしましたことでした。工事中断に伴い、これまでご協力を頂いてきた第一次産業などの関係者や工事請負業者との調整等は、関係者間で協議の上、対応し、今後は工事関係者において、不利益の生じることのないように、契約条件等に従って、現場の状況を確認し合い、工事の清算をし、契約解除までの事務手続きは、概ね六月ごろまでに進めて参りたい。当該事業の必要性と重要性については、いささかも変化するものでなく、今後、各種の状況が整い、事業を再開できることとなった場合には、再度、ご説明をさせて頂き、ご協議をお願いしたいとのことでした。

これに対し議員からは、違約金について、今後の建設準備室について、工事費の財源内訳について等質問が出され、その都度詳細な説明が行われ、又、今後、事業推進にあたっては十分精査するよう要望し閉会いたしました。



★三月五日（月）

午前十時 村庁舎議場にて

◎協議案件

○平成二十四年度東通村一般会計予算

○平成二十四年度東通村国民健康保険特別会計予算

○平成二十四年度東通村後期高齢者医療特別会計予算

○平成二十四年度東通村介護保険特別会計予算

○平成二十四年度東通村下水道事業特別会計予算

○平成二十四年度東通村水道事業会計予算

村長挨拶後、各会計の予算概要について、各担当課長より説明がなされました。

★三月十六日（金）

午前十時五十分 村庁舎議場にて

◎協議案件

○こども園開設準備状況について

こども園について、現在までの状況の報告として、平成二十三年四月一日付けで協定書の締結をし、「社会福祉法人清隆厚生会」は、東通村体育館内に準備事務所を開設、平成二十四年四月一日こども園開設に向けて準備をしてお

り、県との協議も進み、「認定こども園ひがしどおり」が認可の見込みとなり、昨年十二月一日より入園児の受付を開始したとのことでした。その後、当初予算の編成と合せ、保幼園に対する予算について協議を進めてきたが、当初予算編成時点と受付時期の関係から、当初予算と差額が出ており、今後のスケジュールと合せ、説明したいとのことでした。続いて、教育委員会事務局長より、資料に基づき詳細な説明がなされました。これに対し議員からは、協定書（案）について、議会の施設運営に係る協議要請について、今後の予算の流動性について等質問・意見が出され、その都度詳細な説明が行われ、閉会いたしました。



委員会の動き

▼常任委員会

産業建設常任委員会

《三月一日（木）

午前九時開会》

◎協議案件

※（仮）東通村産地直接販売施設等について

村と東北・東京電力においては、本施設計画についての協力をお願いすることで、これまで協議を進めてきたが、東京電力においては、福島第一原発事故に係る賠償や原発停止に伴う資金面での困難により、政府から支援を受けている状況であること、又、東北電力においても、東日本大震災と新潟・福島豪雨により創立以来の極めて厳しい環境となっており、国のエネルギー政策の方針並びに社会的な状況等の影響を熟慮すると当

該事業に対する協力は非常に困難な状況になっていると伺っており、このような状況を踏まえ、関係者と共に様々な観点から検討を重ね、苦渋の選択として一時中断致したく、ご協議をお願いすることとした。

又、この工事の中断に伴う第一次産業などの関係者や工事請負業者との調整等、関係者間で協議の上、対応し、不利益の生じないように契約条件等に従って工事の清算、契約解除までの事務手続きを進めるが、当該事業の必要性と重要性は、いささかも変化するものではなく、今後、各種状況が整い、事業を展開できることとなった場合には、再度、ご説明させて頂きたいとのことでした。

これを受け委員からは、業者への損害賠償について質問が出され、村当局は、二カ年継続事業に伴い、平成二十三

年度分工事は概ね今年三月末におよぶ工期出来高に達成しており、その内容に応じて出来高検査終了後、建設工事の一時中止の通知、そして工事関係者が不利益を生じないよう、請負金額の支払いをする予定であり、平成二十四年分については、事前準備作業により、資材の搬入がなされているか等を請負業者と協議、精査の上、工事の清算を行い、合意がなされた後、議会に対し説明致し、工事請負契約を解除することとした。尚、このことは請負業者においても内諾を得ているとのことでした。又、委員からは、違約金について、請負業者との協議について、今後の工程について等質問・意見が出され、その都度、村の詳細な説明がなされ、当委員会として慎重審議の結果、全会一致のもと村当局の原案を了承致しました。



《三月七日（水）
午前十一時三十五分開会》

◎協議案件

※「TPPへの参加反対の意見書を求める陳情」

政府はAPEC首脳会議の際に「TPPへの参加に向けて関係各国との協議に入る」との方針を表明した。この方針は明確に交渉参加を前提にしたものであり、参加に反対する多くの国民や、これまで議決されている四十四都道府県・市町村議会の八割を超え、反対ないし慎重な対応を求める意思を踏みにじるものであり、断じて許されるものではない。TPPは農業等の第一次産業への壊滅的な影響にとどまらず、医療など国民生活の根幹に影響が及ぶ懸念が広く指摘されているが、政府の説明は「国益を守る」などと抽象的な説明にとどまっている。国益に重大な影響をもたらすTPPについて、国民的コンセンサスもなく、多くの反対世論を無視して参加を強行することは絶対に許されないとの観点から、本陳情書は採択すべきものと決した。

教育民生常任委員会

《三月七日（水）

午前十一時四十分開会》

◎協議案件

※「公的年金の改悪に反対する意見書提出を求める陳情」

政府は税と社会保障の一体改革の中で、私たちの生活にかかわる多くのことを改悪しようとしている。特に「特例水準」を解消するとして、三年間で二・五パーセントの年金引き下げを行おうとしている。当時、政府は高齢者の生活実態と経済への悪影響を考慮して、年金額を据え置いたものであり、適切な措置であったと思います。然るに、今回、高齢者を取り巻く状況は当時と比較しても、益々厳しさを増しているにも拘らず、「特例水準二・五パーセント削減」を強行することは、高齢者の生活を守る立場からも、地域経済を活性化する立場からも認めることはできないとの観点から、本陳情書は採択すべきものと決した。

※「こころの健康を守り推進する基本法（仮称）の制定を求める意見書提出に関する陳情書」

現代社会の中で、国民の「こころ」は深刻な現状にあり、毎年三万人以上が自殺により命を亡くしており、うつ病は百万人以上を超えている。日本をはじめ先進各国では、精神疾患が「がん」や循環器疾病に比べても、最も高い政策的重要度にある疾患であることが明らかにされている。このような中、平成二十三年七月には、厚生労働省の社会保障審議会医療部において、都道府県が五年ごとに策定する医療計画に記載する疾病に、新たに精神疾患を追加することが決定され、都道府県医療計画に精神医療の機能分担や地域連携体制が必須事項として書き込まれることとなった。又、現在、精神保健医療福祉の総合的、包括的な推進とともに、これらの施策に関する速やかな強化・充実が、全国的な運動として求められており、このことから国においては、こころの健康と精神疾患

対策に関する基本理念や施策推進の基本となる事項を定めた基本法を早期に制定すべきとの観点から、本陳情書は採択すべきものと決した。



要 望 活 動

《東北一〇機再稼働・東京一〇機工事再開》

去る、二月二日（木）～三日（金）、村長と小笠原議長・南川原発特別委員長が民主党（松井孝治筆頭幹事長）、経済産業省（松下忠洋副大臣）、内閣府（中塚一宏担当副大臣）、青森県選出国会議員並びに東京電力株式会社・西澤俊夫代表取締役社長に対し、東通原発東北一〇機の早期再稼働、東京一〇機の早期工事再開を求める要望書、又、二月二十八日（火）には、東北電力株式会社・海輪誠取締役社長に対し、東北一〇機の早期再稼働を求める要望書を提出致しました。



民主党に対し、要望した越善村長、小笠原議長

議会の動き



東北電力株式会社・海輪誠取締役社長
に対し、原発再稼働要望



下北郡町村議会議長会定期総会

1月	4日	仕事始め
	16日	全国原子力発電所立地議会サミット実行委員会
2月	1日	全国市議会議長会基地協議会総会
	2～3日	東通原子力発電所東北1号機再稼働・東京1号機工事再開要望 (要望書提出先:国・青森県選出国會議員・東京電力株式会社)
	16日	下北郡町村議会議長会定期総会
	17日	青森県町村議会議長会定期総会
	27日	議会運営委員会
	28日	東通原子力発電所東北1号機再稼働要望(要望書提出先:東北電力株式会社)
3月	1日	産業建設常任委員会・全員協議会
	5日	全員協議会
	7日	第1回定例会本会議・産業建設常任委員会・教育民生常任委員会
	14日	〃
	15日	〃
	16日	第1回定例会本会議・全員協議会

議会を監視するのは『あなた』です。

3月定例会の傍聴人は49人でした。

あなたも議会の傍聴をしてみませんか。

傍聴は村政を知る良い機会です。

定例会は、3月、6月、9月、12月の
年4回開かれます。

臨時会は、必要に応じて開かれます。

詳しくは、議会事務局27-2111
(内線412・413)へお尋ねください。

議会傍聴

編集後記

多くの尊い命がいちどきに失われ、甚大な被害をもたらした東日本大震災から一年の歳月が経過いたしました。

今もなお行方分からない方々のご家族をはじめ、被災された方々に、改めて心からお見舞いを申し上げますと共に一日も早い復興を願うものであります。

さて、平成二十四年三月第一回定例会が三月七日開会され、提出議案三十六件、議員発議三件を議決。三月十六日閉会しました。

産業建設常任委員会に引き続き、総務企画常任委員会が一月から三月までの議会の動きをまとめました。

今後も引き続き、議会の役割として、公正で、客観的な記事、地域住民に親しまれる、読みやすい、わかりやすい議会だよりづくりを努めますので、村民皆様の暖かいご指導、ご協力をお願い申し上げます。

次回は、教育民生常任委員会の担当です。